

自己評価・学校関係者評価書

静岡田町幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

- 健康で明るい子
- 自主性のある子
- 情操豊かな子

2. 本年度の重点目標(学校評価の具体的な課題)

『子ども一人ひとりのよさと可能性を伸ばす教育』——A

- 日々の生活の中で、その子の良いところを見つけ、具体的に言葉で伝えるようにしている。また、子ども同士がそれを聞いて褒めたり、本人も更に頑張ってみようとしたりできるようにしている。
- 気になる姿が目についたり話題に上がったりすることが多くなりがちなので、その子らしさ、良さを見失わないように心掛けている。
- 子どもの良さを見つけやすいような活動や行事を考えるようにしている。
- 可能性を伸ばす教育を日々の保育で具体的に考えながら行っている。
- 一人ひとりの理解の度合いも違うので、分かっていないと思わず、時間をかけて見守るようにしている。
- 一人ひとりの良さを引き出せるよう広い視野を持って臨むようにしている。
- 子ども達の話じっくり聞いたりコミュニケーションをとったり、その中で具体的に何ができるようになったのか、頑張ったのかなどを伝え褒めるようにしている。
- できるだけ子どもの姿をそのまま受け止めるようにしている。
- 色々な視点から子ども達を見るよう、他のクラスの先生たちにも聞いたりしている。
- クラスの子だけに目を向けるのではなく、頑張っていた場面や良い表れなどを見つけた時には、たくさん褒め、担任にも伝えるようにしている。情報共有に努めた。
- 満三歳児は特に悪いことを指摘するのではなく、良い所を本人や周りにも知らせ褒めていく努力をした。
- 子どもの小さなつぶやきや思いを聞き逃さないよう気を付けている。
- 保護者にも連絡ノートで子どもの成長や様子を伝えたり、直接会えた時には頑張りを伝えたりしている。
- 教師自身、心や時間の余裕を持って子ども達と接し、一人ひとりの良さや頑張りを見つけられるようにしている。
- 預かり保育の子ども達の姿や行動について、情報共有をするよう努力している。
- * 教師の声掛けや援助の仕方で伸ばし切れていない子もいるので気をつけていきたい。
- * クラス人数が多いと、一人ひとりに声をかける時間が少なくなってしまうので気をつけている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価	
			評価	理由
I.保育の計画性	B	・やるべきことを確実に行うための計画は月毎、週毎、日毎と立て、臨機応変に対応をすることができた。 ・分からないことは、前もって先輩に聞いたり相談したりしている。 ・計画を立てる時は子どもの様子やクラスの姿などを学年間で話したり相談したりしながら立てている。 ・保育がマンネリ化しないよう気を付けている。 ・自分自身に気持ちの余裕があり、子ども達と楽しく環境構成を考えることができた。 ・計画通りにはいかないとき、臨機応変にねらいや内容を変えて対応することができた。 *計画しても思い通りにいかないこともあるので、しっかり反省して次につなげていきたい。 *子ども達の育ちをじっくり観察し見	A	・100%計画通りにいかなくとも、その場面での対応がしっかりなされている。 ・田町幼稚園ならではの伝統行事やコロナ後の行事の復活に伴うブラッシュアップもされている。 ・発達段階に沿った保育計画がしっかりしている。 ・園全体で子どもの情報を共有し、組織的に計画が立てられている。 ・子どもの個々の特性に合わせた柔軟的な対応が行われている。 ・小学校との交流や運動会などにおいての子ど

	<p>守る事から、環境構成を考えられるようにしていきたい。</p> <p>*子どもの姿から計画を立てなければいけないが、把握できていなかったり、認識の甘さから実態に合っていなかったりするので、しっかり子どもの姿を見極めて計画していきたい。</p> <p>*日々の生活に追われてしまうと、新しいことをやってみようと考えたり準備したりすることがなかなかできなくなってしまう。</p> <p>*大きな行事に対して、十分な時間を取り、計画を立てることができなかった。</p>	<p>も達の様子から、各発達段階における確実な成長は、一人一人に応じた計画的な保育によるものと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の保育や行事の準備まで大変だがよくやっている。 ・ 年間計画、月の予定など分かりやすい。 ・ 毎月予定がたくさんあり充実している。
<p>Ⅱ.保育の在り方、 幼児への対応</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面で、教師自身が遊びに集中してしまわないよう、遊びながらも全体を見る努力をしている。 ・ 園全体で、毎朝の掃除、点検、子ども達の健康面など留意している。自分自身も引き続き気をつけていきたい。 ・ 保育室を離れるときは、他の先生に伝えるようにしている。 ・ 自分で判断することが難しい子ども達なので、安全面には充分配慮している。 ・ 気温よっての衣服の調整やエアコン使用などの配慮にも気を付けている。 ・ 子どもの対応や保育のやり方など努力しなければならないことはあるが、先輩の保育を見たり自分なりに考えて実践してみたりしている。 ・ 常に明るく愛情をもって接するようにしている。特に朝の受け入れ時での様子に気を付けている。 ・ 子どもの表情や動作から、その子の気持ちを察したり理解したりする努力をしている。 ・ 教師同士の連携から気になる子に対してもいろいろな角度で子どもたちを見ることができていて、情報の共有も行った。 ・ 『報告』『連絡』『相談』に心掛けている。 ・ 教師同士の協力や連携は、必要不可欠なので、小さなことでも気づいたことは情報を共有して、一人ひとりに合った対応ができるよう努力している。 *教師間での連携や思いやりの心、謙虚な態度などみんなで気を付け合いたい。自分自身も努力していきたい。 *クラス、学年を越えての意見や情報共有にもっと積極的になり、自分から話題を出して保育を高め合えるようにしていきたい。 *教師同士のコミュニケーションを取り合う努力をしているが、うまく伝わらない時があるので引き続き伝え方にも気をつけたい。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児達に対して常に愛情を持ち、安全策を考えて行動している。 ・ 一人ひとりをよく見て、個々に合わせた伝え方、関わり方、援助の仕方などを意識して細やかな対応をしている。 ・ 子ども目線で一緒に笑い遊び、大人目線で安全や環境に配慮している。 ・ 担任だけでなく、どの先生も笑顔で子どもの名前を呼んで対応しているので、子どもも笑顔になる。 ・ 先生達だけでなく職員の皆さんも声をかけたり手を振ったり、園全体で子ども達を見守っていて安心感がある。 ・ 子ども達にいつも明るく、優しく、丁寧に対応されているので、安心して生活できている。 ・ 怪我などの危険が予測される場合は、子どもに理解しやすい的確に支援や指導がなされている。 ・ 子ども自身がやりたくなる支援や指導、環境設定がなされ、自主性が育まれている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の在り方が日々変わってきている中、自分の保育を振り返るとともに、今求められている保育の情報をしっかり得るようにしている。 ・ 常に自己研鑽に励み、知識を深める努力をしている。 ・ 自分の立場、位置を理解した上で、周 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に子ども達の成長を願い、自ら自己研鑽に励み、外部の研修にも積極的に取り組んでいる。 ・ 先生達がいつも明るく元気な挨拶で出迎えてくれるその姿は、園児達

<p>Ⅲ.教師としての資 質や能力・良識・適正</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りへの気配りや気遣いができるよう、また自分の事だけににならないようにしている。 ・組織の一員として、活躍できるような場を自ら見つけていく努力をしている。 ・自分に任せられた仕事は、責任を持って行うようにしている。 ・子ども達の成長を見たり感じたりすることが励みになっている。 ・子どもの姿や遊びの一場面、一場面を捉えながら考えたり思い切っ変えてみたりしている。 ・子ども達の笑顔や成長に毎日喜びを感じている。保育を楽しんで行っている。 ・園全体で、子ども達に丁寧に関わり、楽しく仕事ができるような体制を作る努力をしている。 ・子ども達が日々成長する姿に喜びを感じている。 ・大きな行事に、全員で取り組む体制作りをしたことで、自分は何をしたら良いのかが分かり、積極的に取り組むことができています。 ・田町幼稚園の教師として、言葉や振る舞いなどを常に意識している。 *誰もが研修に参加して学べる体制ができていますので、専門家としての能力をしっかりと身につけていきたい。 *外部研修に参加することで、得るものも多いので、充分生かしていきたい。 *できるだけ周りを見て行動に移すようしているが、まだまだ出遅れてしまうこともあるので、気をつけていきたい。分からないことは質問し、共通理解のもと動けるようにしていきたい。 *クラス運営ばかりにせず、全体にも目配り気配りができるようにしていきたい。 *自分に任せられた仕事は、責任をもって行えるように努力していきたい。 *自分の言動が園全体のイメージにつながることを常に意識していきたい。 *長い経験を生かして、これからも子ども達と楽しく関わっていきたい。 *子ども達の笑顔や楽しんでいる様子に自分自身も喜びを感じる。なお一層素敵な笑顔や笑い声が聞けるよう、これからも新しいことに挑戦していきたい。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にも通じている。 ・子どもに寄り添った温かい支援や指導がなされている。 ・学校における活動、地域と語る会など目的を理解し協力している。 ・子ども達に人気の絵本などの情報を共有したり、クラスや学年の枠を超えてのチームワークで、熱意を持って取り組んだりする姿勢に安心して任せられる。 ・挨拶やルールなど、子ども達に分かりやすく年齢に合わせて伝えていることが、子ども達の成長の姿から分かる。 ・季節(四季)や文化など、歌や工作、イベントなどを通して親しむことができています。 ・英語にも触れることができています。
<p>Ⅳ.保護者への対応</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートを活用して、我が子の様子、成長、友達との関わりなどできるだけ知らせる努力をした。 ・対応に困る事案には、先輩や園長に相談をしたり、職員間で共有したりしている。迅速な対応にも心掛けている。 ・保護者の考え方も様々なので、しっかり保護者の事を理解した上で丁寧に対応している。 ・保護者と教師の関係性がうまく作れるよう、子ども達の様子を丁寧に伝える努力をしている。 ・ブログの更新頻度を増やしたことで、クラスの様子をたくさん知らせることができた。保護者にも喜ばれている。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園と保護者との連携がしっかりできている。 ・家庭環境が多様化する中、個々のケースにより対応の難しさはあるが、情報伝達やコミュニケーションをしっかり取っている。 ・保護者への声掛けができていて安心感がある。 ・連絡ノートでのやり取りも月一回はあり、園での姿が分かる。 ・ブログでの姿やそれについての声掛けなどが

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真だけでは伝わりにくい場面では、保護者に具体的に伝えたりしている。 ・教師と保護者という線引きは忘れないようにしている。言葉遣いなどにも気をつけている。 ・朝バスに乗務したときには、保護者とのコミュニケーションがとれるよう努めている。 ・預かり保育での子どもの姿や成長なども伝えるようにしている。 *連絡ノートの活用は、忙しくなると疎かになるので気をつけていきたい。 *常に保護者の立場を自分に置き換え、保護者の求めていることや知りたい情報などがきちんと伝えられているか、対応の仕方は適切かを自問自答しながら対応していきたい。 *子供の成長を保護者と共に楽しみ喜んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ら、園での子ども達の様子がより分かる。 ・お手伝い隊の活動が今年はたくさんあり良かった。 ・連絡アプリ『コドモン』での連絡等もスムーズで良い。 ・挨拶やきめ細かな対応ができていて、小学校の職員もありがたく感じている。
<p>V.地域の自然や 社会との関わり</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さんも一緒に子ども達を育てていこうという気持ちが有難い。 ・地域や小、中、高などとの関わりが多くあり、子ども達にとってもいろいろな体験ができて良かったと思う。 ・進学する小学校の給食を見学したり、児童との交流があったり、小学校が身近なものとなり、ゼロからのスタートでない事が有難い。 ・未就園児やその保護者にも積極的に声を掛けるようにしている。 *年長児だけでなく他の学年も関わりが持てるよう、積極的に学校等との交流の機会を作っていきたい。 *小学校の英語の授業を見学してみたい。 *幼稚園側からも関わりが持てるようお願いをしていきたい。 *園外に散歩に出る機会なども作って地域の人たちと関わっていきたい。 *子育て支援についてもっと意識していくよう努力していきたい。 *地域の自然、四季の変化などにもっと気付き、伝える努力をしていきたい。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部との交流の機会は今後も積極的に増やしていけると良い。 ・地域との絆が深く、地元で愛され親しまれている園である。 ・小学校見学、中高生との交流、地域のイベントの参加等、田町学区の特色を十分に生かして関わっている。 ・小学校との交流は、進学に向けての良い経験となる。 ・小学校との交流は、入学への期待が高まるようなので、これからも継続させていくと良い。
<p>VI.研修と研究</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修で学んだことを実践する努力している。 ・研修を受けることで、今の教育に何が必要なのか、どのようにすることが良いのか等、掘り下げて考えていく必要があることに気付かされる。 ・教師としての専門性を高めるため、関連書物を読む努力をしている。 *いろいろな分野の研究や研修を行っていく努力は常にしていきたい。 *学ぶ姿勢は常に持ち続け、そのための時間を作る努力をしていきたい。 *与えられた研修だけでなく、自ら探し学ぶ努力をしていきたい。 *教師として日々研究は大切であると認識しているが、保育の準備や毎日のやるべきことに追われて時間を生み出すことが難しいのが課題である。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中でも前向きに取り組んでいる。 ・今後も保育に生かせる研修、専門性を高める研究を続けていけると良い。 ・新しい歌やダンス等を覚えるのは大変であるが楽しくもある。積極的に研修や学びの会に参加して、知見を広げていけると良い。 ・学んだことの共有は、ベテランと若手教師のコミュニケーションの場としても学びがある。 ・幼、小、中、高と地域が連携して、子どもを育成していく体制を構築することができている。

	<p>〈園内研修について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの中での子ども達の自然な姿からたくさんの発見があり、教師として必要な援助や環境について考えることができた。 ・様々な事例を持ち寄ることで、自分では気付かなかったことや違う援助や声掛けの方法等を話し合うことができ、学びが多くあった。 ・保育を振り返る良い機会となった。 ・他のクラスの保育、子ども達の様子を知ることができた。 ・他の教師に認めて貰ったり、褒めて貰ったりすることで自信につながった。 ・教師として成長できるように、またお互いを高め合える研修となっていくように引き続き考えていきたい。 ・意見を発言しやすい雰囲気、環境で、自ら学ぼうという気持ちで臨めた。 		
--	---	--	--

4. 本年度の重点目標の総合的な評価結果

- ・幼児期には、いろいろな体験をすることが大切であるという考えのもと、園行事を再検討したり、編成し直ししたりしながら保育を進めていった。その結果、子ども達の笑顔がたくさん見られて遊びも活発になり、一人ひとりの良さや頑張りを見出す機会となった。また、友達との関わりが増えて子ども達の成長をより感じることができた。
- ・地域や小中高生など外部の方との触れ合う機会も多くあり、いろいろな方々から褒めてもらうことで自信が付き、子ども達の良さを更に引き出すことができた。
- ・改めていろいろな経験の大切さを感じる事ができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> ・研修、研究について ・保護者への対応、情報提供について 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修で日々の保育を見直し、テーマに沿った研究をすることができたが、資料の持ち寄りで終わることがないように、教育内容に反映させ、共通理解していけるよう踏み込んだ研究をしていく。 ・行事や保育活動の中で、発達段階を共通理解し、年齢に合った教材や指導など適切な保育ができるようにする。 ・保育の質の向上を重視した保育活動ができるよう、外部の研修に積極的に参加し、様々な角度から保育や子どもについて考えていくことができるようにする。 ・ブログ、連絡ノート、毎月のPDFで、日常の子どもの様子や行事での姿などを発信しているが、保護者がどんなことを知りたいのか、伝えるべきことは何か、我が子の学びや成長の姿に関心を持ってもらえるようにするにはどのような方法が良いのかなど、深く捉えて提供していく。 ・未就園児とその保護者に、園の楽しさや魅力ある園として興味関心を持ってもらえるように、職員一人一人が挨拶や態度で示していく。

6. 学校関係者評価委員会からのコメント

- ・幼・少・中・高・地域の連携があり、協力体制がとても良くできている。
- ・園内研修の取り組みがとても良く、発達の積み上げができている。小・中にも繋げていきたい。
- ・地域の祭りに参加したり安倍川公園を利用したり、今後も地域とのつながりを作っていってほしい。
- ・教師間でできている所を褒め合ったり言い合ったりすることで安心でき、失敗しても大丈夫という気持ちになれる。子どもにも繋がっていく。先生たちの雰囲気もとても良い。

